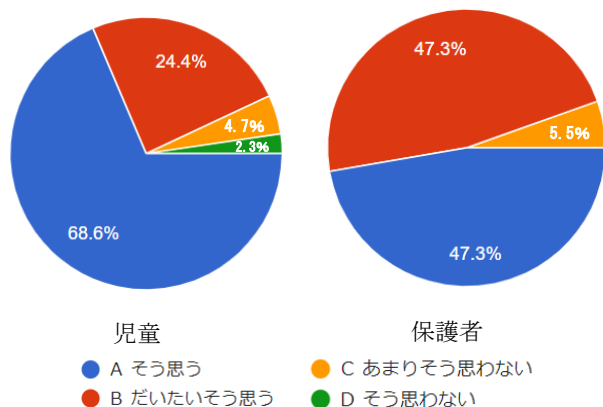
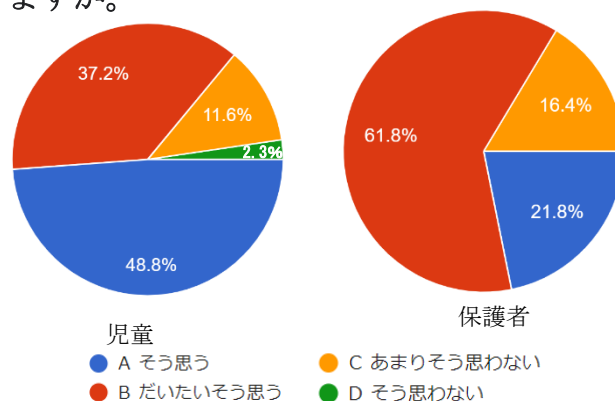


①楽しく学校に行っていますか。



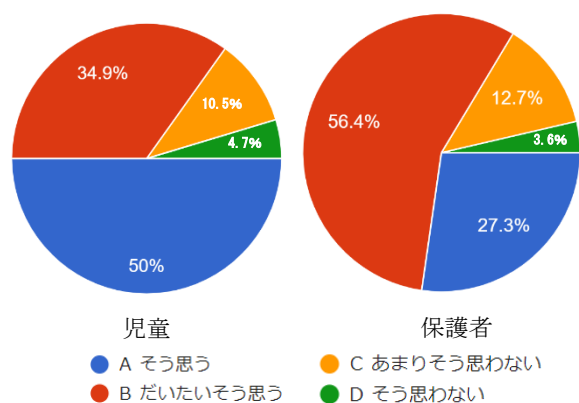
児童・保護者ともに肯定的な回答が9割以上であるが、「楽しくない」と感じている児童も1割程度ある。⇒コロナ過で活動に制限がある中、学校行事や児童会行事、日々の授業や学校生活などにおいて、意欲的に取り組み、充実感を味わっている様子が見られる。家庭と連携をしながら一人一人の子どもの思いに寄り添い、学校が楽しいと思えるよう、さらに教育課程の工夫していく。

②夢(めあて)や目標をもってがんばっていますか。



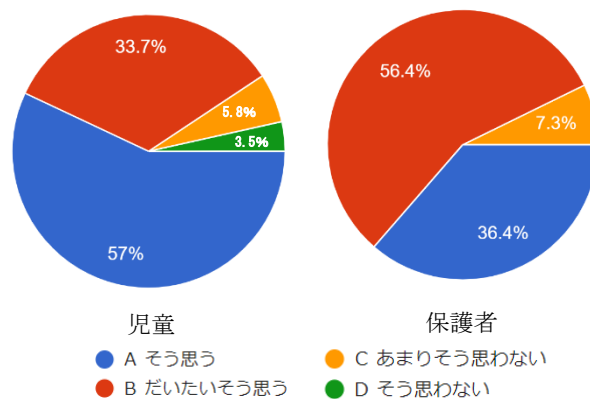
昨年度と比べ、「そう思う」と回答した児童が13ポイント増えた。児童、保護者ともに肯定的な回答が昨年度同様8割程度である。⇒今後もキャリアパスポートの活動、友だち発見、行事や日々の取組を通じて、夢(めあて)や目標を持って努力する態度や学校風土を培っていく。また、自ら考え行動できる児童を目指し、結果だけでなく努力する過程を評価していく。

③失敗や間違いを恐れずに、挑戦(チャレンジ)していますか。



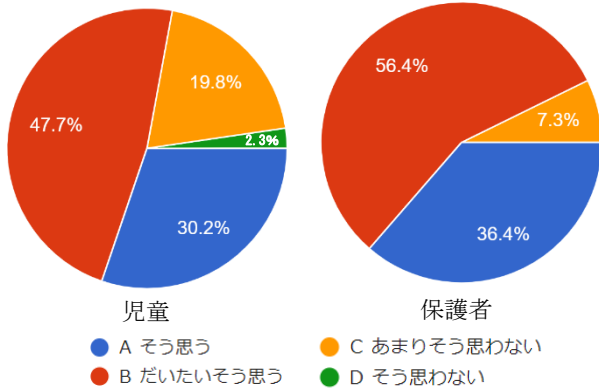
昨年度と比べ、「そう思う」と回答した児童が17ポイント増え、児童、保護者ともに肯定的な回答が9割近くある。⇒問題解決や目標に向かって努力する児童が多い。結果だけでなく、努力する姿や目標に向かって主体的に取り組む姿を評価し、チャレンジする態度を育んでいく。

④誰とでも仲良くできていますか。



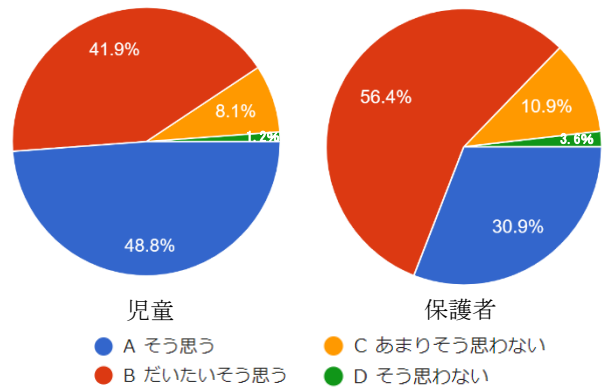
児童・保護者ともに肯定的な回答が9割以上を占めている。⇒学校行事、友だち発見や縦割り班での活動(ロングタイム、そうじ)を通して異学年の交流ができ、友だちの良さに気づき、互いに認め、高め合う仲間づくりができていますので、この活動を継続させるとともに、内容の充実を図る。

⑤自分からきもちのよい声であいさつしていますか。



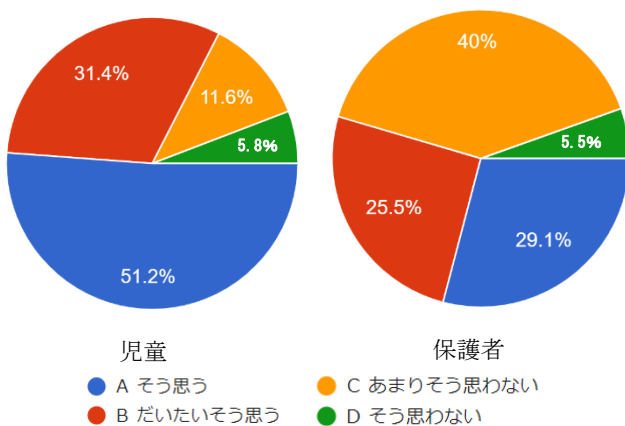
児童は8割を切っているが、保護者は9割以上が肯定的な回答である。⇒児童会による挨拶運動や下校集会での挨拶ワールドカップなどの取り組みの成果もあるが、挨拶を進んでする児童としない児童との差が大きいと考えられる。挨拶のめあてを意識させる働きかけがさらに必要である。

⑥授業中は、しっかり話を聞き、発表し、自分の考えを書いていますか。



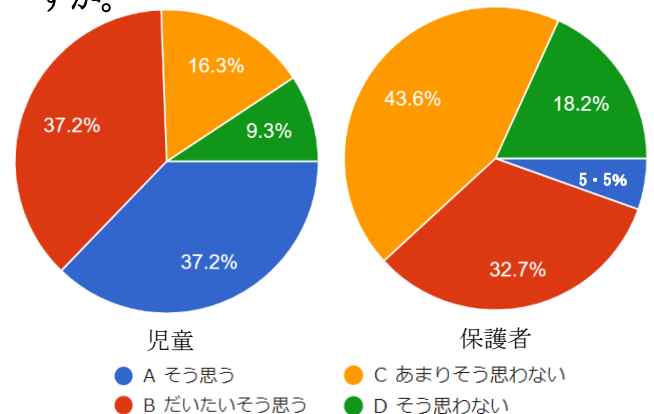
児童・保護者ともに9割が肯定的な回答である。⇒年度当初には学校全体で学習規律を整えるために大切なことを確認しながら授業づくりに取り組むことができた。また、校内研修を中心に自分の考えを述べる力を高めていることがこういった成果につながっていると考える。今後も教師の資質・能力を向上するための研修を行っていく。

⑦本を読むのが好きですか。



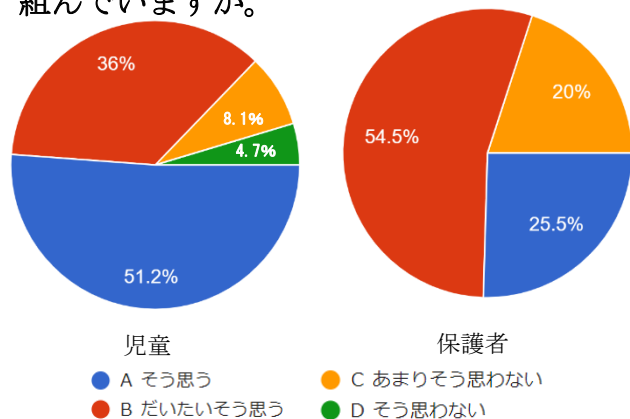
肯定的に回答した児童・保護者は昨年度とほぼ同じである。⇒どんどんブック月間、読み聞かせ、読書マイスター、図書委員会の啓発活動、学校図書サポーターの環境整備など、様々な取組が家庭での読書にもつながるように継続する。

⑧詩を読んだり書いたりすることが好きですか。

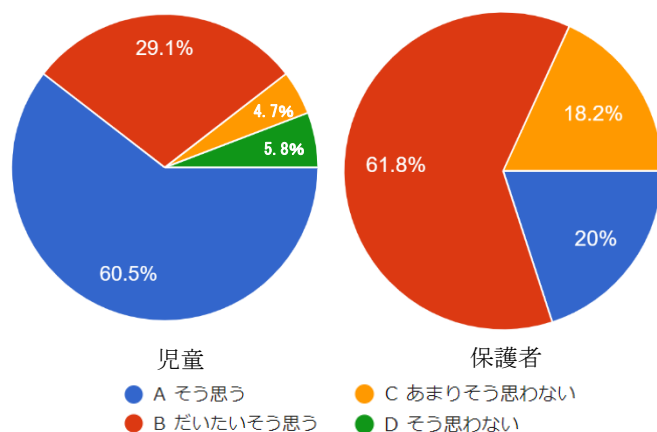


児童で約7割、保護者で約4割が肯定的な回答である。⇒毎週金曜日に詩を書く時間をとっていることで、書くことに対する苦手意識が低いように思う。その反面、マンネリ化して書く題材に困る児童もいるので、題材を決めたり、友だちと一つの詩を作ったりするなどの工夫や発表の場をより多く持つことで意欲的に取り組ませたい。また、子どもの詩に対する取り組みや思いを積極的に保護者に発信していく。

⑨大路漢字検定・計算検定に意欲的に取り組んでいますか。



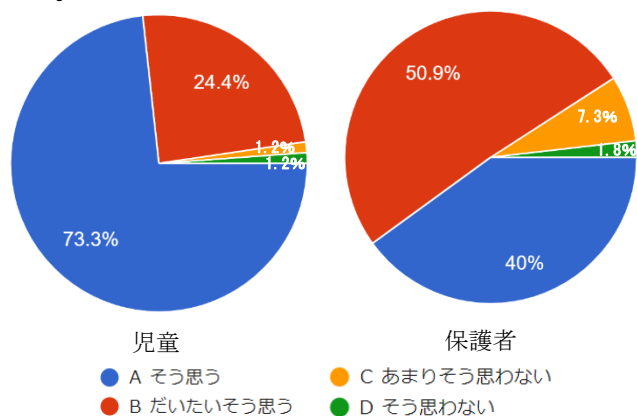
⑩家庭学習は、学年のめやすの時間でできていますか。



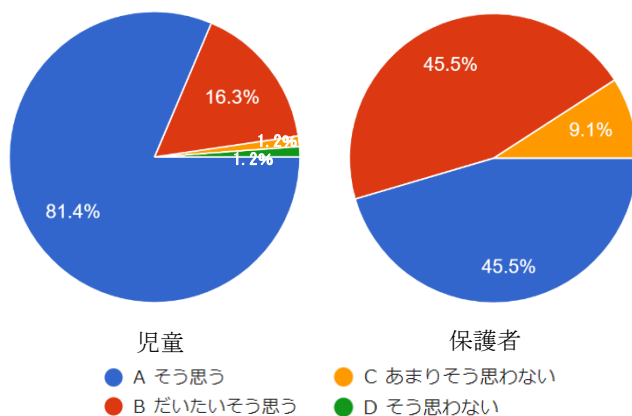
児童・保護者共に昨年度と同様の割合で肯定的な回答が得られた。⇒家庭学習を中心に検定合格に向けて取り組むことができている。しかしながら、漢字検定においては、なかなか合格することが困難な児童もいるので、結果だけでなく取り組みに対する肯定的な評価を行い、意欲的に取り組めるようにする。

児童・保護者共に昨年度と同様の割合で肯定的な回答が得られた。⇒学年が上がるにつれ、家庭学習の質・量が高まっているのでそれに応じて時間も伸びていることが考えられる。家庭学習については、自分で考えた内容に取り組む考え方も増えてきているので、従来の方法に縛られず、児童が意欲的に学習に向かえる（自走学習）方法も検討していく。

⑪地域の人との学習を楽しみにしていますか。



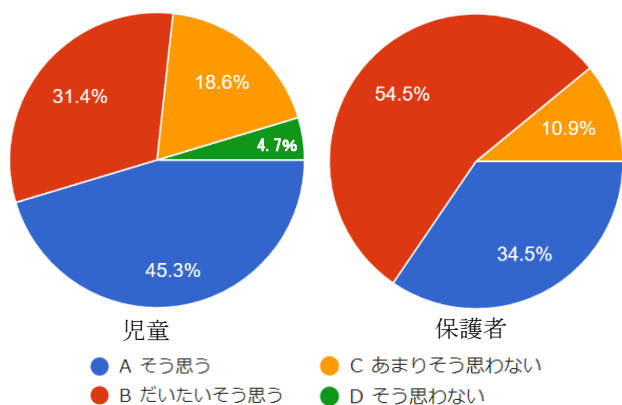
⑫自分たちが住んでいる「ふるさと大路」が好きである。



ほとんどの児童・保護者が肯定的な回答をし、地域の人との学習に魅力を感じ楽しみにしている。⇒今後も学校支援コーディネーターと連携を図り、地域の方々の協力を得ながら、より魅力を感じられるような教育活動をする。

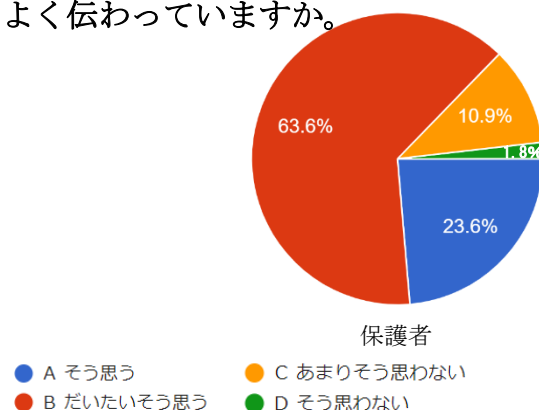
児童・保護者ともに9割が肯定的な回答である。特に、児童については8割が「そう思う」と回答しており、地域の方々との学習を通してふるさととの良さを感じている児童が多いと思われる。⇒今後も地域の教育資源を積極的に活用し、地域の良さを感じられるように工夫する。

⑬自分にはよいところがありますか。



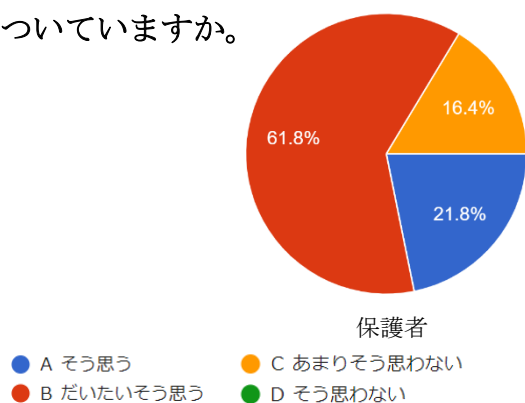
児童の肯定的な回答は8割を切っているが、保護者の回答は9割近くある。⇒落ち着いた学校風土、意欲的に物事に取り組んだり、友達に対して優しい気持ちで関わったりする児童が多いなど、大路っ子の良さが随所にみられる。子どもの姿をありのままに受け止めながら、日々の活動やキャリアパスポート、友だち発見などにおいて自分の良さを実感させ、自己肯定感を高める。また、自主自走ができる子を目指し、自分の得意なことを見つけ、互いに認め合う風土を培う。

⑭学校だより、校長室だより、保健だより、学級通信、ホームページなどで、学校の様子がよく伝わっていますか。



肯定的な回答が8割を超えている。⇒さまざまな方法を用いて学校の様子を発信しているが、十分でないところもある。学校への意見の中に、ホームページの更新を臨む声があったことを受け、来年度は定期的に更新を行う。

⑮あいさつや返事、優しい言葉がけの習慣がついていますか。



8割の保護者は、肯定的に回答している。⇒あいさつや返事は生活リズムを作ることと認識し、家庭と連携を図り、習慣になるまで根気よく取り組んでいく。優しい言葉がけについても、学校での取り組みを紹介するなど家庭との連携を図っていく。